

令和 8 年度 入学 試験 問題

地 理 歴 史

100 点満点

◀配点は、一般選抜学生募集要項に記載のとおり。▶

地 理 探 究 (1～14 ページ) 世界史探究 (15～32 ページ)
日 本 史 探 究 (33～47 ページ)

(注 意)

1. 問題冊子および解答冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は表紙のほかに 47 ページである。
3. 問題は地理探究 5 題，世界史探究 4 題，日本史探究 4 題である。
4. 試験開始後，選択した科目の解答冊子の表紙所定欄に学部名・受験番号・氏名をはっきり記入すること。表紙には，これら以外のことを書いてはならない。
5. 総合人間学部「文系」・文学部・教育学部「文系」・法学部・経済学部「文系」受験者は，地理探究・世界史探究・日本史探究のうちから 1 科目選択すること。
6. 解答は，すべて解答冊子の指定された箇所に記入すること。
7. 解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがある。
8. 解答冊子は，どのページも切り離してはならない。
9. 問題冊子は持ち帰ってもよいが，選択した科目の解答冊子は持ち帰ってはならない。

日本史探究

(4 問題 100 点)

I

日本史探究問題

(20 点)

次の史料(A～C)を読み、問(1)～(18)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。なお、史料の表記は便宜上、改めたところがある。

A

八日。(中略)京都の儀は、さる三日、山名・細川^(a)対面す。両方に大慶の由と云々。被官人^(注)等申し合^(注)わすゆえか。よつて下京以下商人等、御陣に参る。泰平の儀なりと云々。ただし船岡山陣の一色、アの南陣の畠山右衛門佐・大内新助・土岐三乃守・畠山大夫は、おのおの進退所見なし^(b)と云々。いかさま京都の儀、なおなお正体あるべからずと云々。御陣には畠山尾張守・赤松次郎^(c)等、用心もつてのほかと云々。その意を得ざることなり。

(中略)

十八日。(中略)さる十五日、山名息、御陣に参り申し、公方に御対面す。赤松以下諸大名見参す。(中略)大内の進退^(d)は、今出川殿御和与^(e)これあらば、御供申し、参り申すべきと云々。^(注)

(『大乘院寺社雑事記』文明6年(1474)4月条)

(注) 「云々」は、その文章が伝聞情報であることを示す。

「被官人」は、家来のこと。

「和与」は、和解のこと。

問

- (1) 下線部(a)の山名氏と細川氏は、これまで敵対して戦っていたが、和解のため対面した。この戦いの名称を記せ。
- (2) ア は、足利義満の帰依した春屋妙葩により開かれた寺院で、京都五山の一つであり、将軍家の氏寺となった。この寺院の名称を記せ。
- (3) 下線部(b)は、山名氏と細川氏が和解したとしても、この戦いに参加した大名たちがどのように動くかはわからないという意味である。実際に、その後も畠山氏の内紛は長く続き、文明17年(1485)には畠山氏の領国の国人・土民らが立ち上がり、畠山氏の軍勢を退去させた。この事件の名称を記せ。
- (4) 下線部(c)に関連して、赤松氏はかつて6代将軍の暗殺事件でいったん没落したが、この戦いで再び勢力の伸長を図った。この暗殺事件を何と呼ぶか。
- (5) 下線部(d)に関連して、大内氏が室町期に領国に対して発令した法をまとめた分国法の名称を記せ。
- (6) 下線部(e)の「今出川殿」は、この戦いの原因となった人物の一人であり、8代将軍の弟である。この人物は誰か。
- (7) この史料の出典である『大乘院寺社雑事記』を記したのは、興福寺の僧尋尊であるが、その父は『樵談治要』を著した人物である。この人物は誰か。

B

この度通用のため、吹き抜き候上銀、イと唱え候銀をもって、二朱の
歩判^{ふはん}仰せ付けられ候間、右歩判銀ウつをもって金一兩の積もり、文字
銀並びに錢共、時の相場の通り滞りなく両替致すべきこと

一、右二朱銀兩替につき、切り賃^(f)の儀、これまた金と同様相心得、取り遣り致
すべきこと

一、二朱銀包の儀は、文字銀と違い、銀座において包みいたし候間、その通り
相心得申すべきこと

右イ二朱銀の儀、金と同様通用^(g)のため仰せ付けられ候間、滞りな
く通用致すべきこと

右の趣、国々へも触れ知らすべきもの也。
^(h)

(注) 「吹き抜き」は、銀に混じっている銅を抜き取り、純化させること。

「上銀」は、純度の高い良質の銀のこと。

「二朱の歩判」は、金貨二朱に相当する銀貨ということ。

「切り賃」は、両替する際の手数料のこと。

問

- (8) この史料で実施された貨幣政策の時期，利根川水系の湖沼を干拓する新田開発が進められた。それは印旛沼とどこか。
- (9) に入る適切な語句を記せ。
- (10) に入る適切な漢数字を記せ。
- (11) 下線部(f)に関連して，江戸時代前期に錢座で大量に鑄造された錢貨の名を記せ。
- (12) 下線部(g)に関連して，金貨と異なり，それまでの銀貨は重さをはかって使用された。このような貨幣を何というか。
- (13) 下線部(h)について，老中の支配を受け，大名の監察や幕府法令の伝達を担った幕府の役職名を記せ。

C

- 一、我等は二千六百年來の因習を破り、男女ともに天賦の義務権利に即して新日本建設の責務を負ふべき事を信ず。
- 一、明治初年より半世紀に亘り国民教育においてすでに男女の別なくまた女子⁽ⁱ⁾高等教育の門戸も開かれつつある今日、普通選挙の実施に当り女子を除外するは不当のことと云はざるを得ず、我等はこれを要求す。
- 一、我国の はすでに四百万に達せり、^{その}其利益保護のために参政権を要求するは当然のことと信ず。
- 一、我国大多数の家庭婦人はその生活完成のため、法律上国家の一員たるべく^(j)これを要求す。^(k)
- 一、市町村における公民たり、又国家の公民たる資格を求めて我等は参政権を必要とす。
- 一、以上は宗教の異同、職業の差異、あらゆる異同を除き^{ただ}唯女性の名において一致し得る問題なるが故に、ここに大同団結を作り 運動をなす必要とその可能性とを信ず。

問

- (14) この史料は、1924年12月13日に発会式を挙げた組織の宣言書である。
- (あ) その組織の名を記せ。なお、には、その組織の名称の一部が入る。
- (い) この年6月に護憲三派によって誕生した内閣の首相は誰か。
- (15) 下線部(i)に関連して、
- (あ) 「明治初年」に政府は、国民皆学を目指した小学校制度を全国的に定めるものとして、何を公布したか。
- (い) この宣言書が作成された際の「国民教育」は、何年間の義務教育として定められていたか。
- (16) 下線部(j)に関連して、空欄 には、第一次世界大戦後の経済発展を契機に増加した、仕事をもつ女性を指す語句が入る。(j)と対比的に示された、その語句を記せ。
- (17) 下線部(k)に関連して、この宣言の時点で女性の政治結社への加入や政談集会への参加を制限していた法律名を記せ。
- (18) この宣言書における要求が法改正により制度化された後、その制度に基づく初めての国政選挙が実施されたのはいつか。その実施の年を記せ。

Ⅱ 日本史探究問題

(20 点)

次の文章(①~⑩)の [ア] ~ [ト] に入る最も適当な語句を記せ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。

- ① 卑弥呼は邪馬台国を中心とする小国の連合の女王になり、伊都国には [ア] という役人が置かれ、諸国を檢察した。卑弥呼は [イ] 国との抗争中に亡くなり、その後の争乱を経て国中は収まったという。
- ② 中大兄皇子は 663 年の [ウ] の戦いに大敗したのち、西日本各地の防備を固め、琵琶湖に近い [エ] 宮に遷都した。
- ③ 7 世紀から [オ] と呼ばれる銅銭が鑄造されていたが、これについて [カ] 京の造営の労働対価として新たな銅銭が発行され、錢貨流通の促進が図られた。
- ④ 平安時代の初めには唐風の文化が花開き、 [キ] ・淳和両天皇のもとで 3 つの勅撰漢詩集が編さんされた。空海も漢詩文の創作理論書として『 [ク] 』を編さんしている。
- ⑤ 西日本を中心にキリスト教が広がるなか、豊後の大名 [ケ] のように、キリスト教に入信してキリシタン大名となるものがあらわれた。 [ケ] は、有馬晴信・大村純忠とともにローマ教皇に使節を送った。この使節を [コ] 使節という。
- ⑥ 近世都市の町人地の基礎単位であった町は、町屋敷を所持する [サ] , すなわち町人によって運営されていた。町はそれぞれ独自に定めた法である [シ] に基づき自治を行っていた。
- ⑦ 現在の京都市にある [ス] は八条宮智仁親王の別邸として造営されたものである。 [ス] は、修学院離宮とともに、書院造に茶室の要素を加味した [セ] 造の代表例とされる。
- ⑧ 石牟礼道子は、海に注ぐ工場廃液に由来する有機水銀が引き起こした公害を題材に、『苦海浄土 わが [ソ] 病』を著した。この公害を含むいわゆる四大公害についての訴訟はいずれも、原告である被害者側の [タ] 訴となった。

- ⑨ 1982年に首相となった は行財政改革を進め、国営事業であった専売公社と 公社を1985年に、国鉄を1987年に民営化した。
- ⑩ 1954年の 協定で、日本はアメリカの援助を受けるかわりに防衛力を増強することになり、同年、自衛隊が発足した。1992年には 法が成立し、自衛隊の海外活動が可能になった。

Ⅲ 日本史探究問題

(30点)

次の文章(A～C)の ～ に入る最も適当な語句を記し、問(1)～(16)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。

A

「文武忠孝を励し、礼儀を正すべき事」

^(a)この文章は、1683年に幕府が改訂した法令の第一条である。儒教に基づき秩序を維持することを^(b)目指したもので、^(c)幕政の方針の転換を示す例としてしばしば言及される。第6代・第7代將軍の時に幕政を担った儒者のが、朝鮮通信使が日本にもたらす国書における將軍の呼称を、から日本国王へと変更させたのも、立場や身分の違いを重んじる考え方に基づいていた。同様に、儒者に学び藩政に臨む大名もいた。

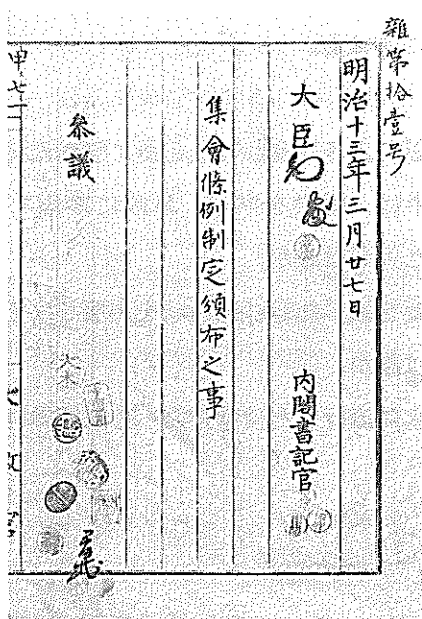
^(d)同じ頃、庶民の間にも儒教的な考え方が浸透していった。福岡藩の儒者で、『大和本草』の作者として知られるは、京都の出版業者と組んで、わかりやすい仮名交じり文で記した教訓書などを数多く出版し、多くの読者を得た。地域を越えて、身分を越えて流通する出版物を^(e)ひもとき、その時代にふさわしい生き方を探る営みが広まっていたのである。

江戸時代において、出版物が、人びとに娯楽を提供し、生活を彩る媒体へと成長したことも見逃せない。庶民の間に旅が流行した背景には、名所案内や旅行記、地図などの出版があったし、^(f)18世紀後半以降の江戸での歌舞伎人気の高まりには、役者を描いた多色刷りのの流通も寄与していた。

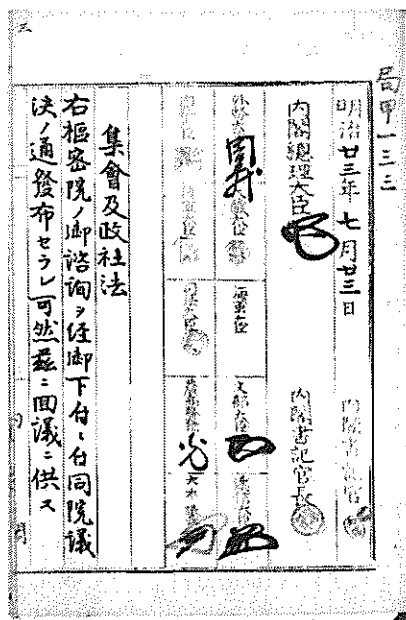
問

- (1) 下線部(a)の忠と孝とが、尽くされるべき対象として想定されているのは何か。忠と孝それぞれについて簡潔に述べよ。
- (2) 下線部(b)の法令の名称を記せ。
- (3) 下線部(c)について、それ以前とどのように変わったのか、簡潔に記せ。
- (4) 下線部(d)に関連して、17世紀半ば、儒学を学び、幕政に参画する一方で、会津藩の体制づくりにつとめた大名は誰か。
- (5) 下線部(e)に関連して、海防の必要を論じた『海国兵談』を出版し、それが人心を惑わすとして処罰された人物は誰か。
- (6) 下線部(f)に関連して、江戸時代末に流行した伊勢神宮への集団参拝を何と
いうか。

B



画像 1



画像 2

画像 1・2 は、1880 年集会条例と 1890 年集会及政社法の制定に関する政府内部の決裁文書の一部である。画像 1 では、右方上段に三大臣、すなわち オ 大臣の三条実美、左大臣の^{ありすがわのみやたるひと}有栖川宮熾仁、右大臣の岩倉具視が署名(書き判)ないし押印し、左方に参議 8 名(大木喬任、寺島宗則、大隈重信、山県有朋、伊藤博文、井上馨、山田顕義、黒田清隆)が署名ないし押印している。画像 2 では、画像 1 で参議であった カ が、内閣総理大臣として署名し、8 名の大臣と樞密院議長の大木喬任が署名ないし押印している。

集会及政社法は「法律」として制定されたが、注意を要するのは、この「法律」は、明治憲法第 37 条が「凡テ法律ハ キ ノ協賛ヲ経ルヲ要ス」と定める、その要件を満たしていないことである。なぜなら 1890 年 7 月には、キ はまだ召集されていないからである。しかしまさしくこの時期に、政治集会・政治結社を規制する「法律」を定めたことは、政府にとって、キ への進出が予想される⁽ⁱ⁾旧民権派の政治活動に、初めから制約を加えようとする狙いがあったと考えられる。この後、カ は内閣総理大臣として キ に臨むことになる。

問

- (7) 画像 1 で署名ないし押印している参議のうち、翌年 10 月に罷免され、政府から去った人物は誰か。
- (8) 集会条例制定の背景には、国会開設運動の高まりへの警戒感があった。1880 年 3 月の愛国社大会において、この運動のため結成された組織の名称は何か。
- (9) 集会条例は 1882 年に規制を強化する改正が行われ、その第 18 条に、およそ集会・結社は「 卿ニ於テ治安ヲ妨害スト認ムルトキハ」禁止することができる^{と定め}、集会及政社法の第 30 条も、結社につき「安寧秩序ニ妨害アリト認ムルトキハ 大臣ハ之^{これ}ヲ禁止」^{と定め}た。法文中の空欄には同じ語句が入る。この語句を記せ。
- (10) 下線部(g)を代表として 1871 年に欧米に派遣された使節団には、画像 1 で署名ないし押印している参議のうち、1 名が副使として、1 名が理事官として参加している。
- (あ) 副使として参加した、その人物は誰か？
- (い) 理事官として参加したのは山田顕義である。山田が司法大臣であった 1891 年、訪日中の外国皇太子が切りつけられ、犯人の処遇が大きな問題となる事件が生じた。被害者はどこの国の皇太子であったか。
- (11) 1927 年、当時の内閣が、ある金融機関への救済融資のため緊急勅令発布を準備したところ、下線部(h)の反対を受け、内閣総辞職に至るという事態が起きた。救済対象となった、この金融機関の名称を記せ。
- (12) 下線部(i)の中心人物の 1 人は、画像 2 では大臣になっている。幕末の大政奉還建白に関与したことで知られる、この人物は誰か。

C

表1は、1873年から1950年までの日本の農地における小作地(j)の割合(小作地率)の推移を示す。表2は、1920年から2000年までの産業別の就業者数とその比率の推移を示す。

表1 小作地率の推移(%)

1873年	27.4
1883~84年	35.9
1892年	40.2
1903年	43.6
1912年	45.4
1922年	46.4
1932年	47.5
1940年	45.9
1950年	10.1

(『近現代日本経済史要覧 補訂版』より作成)

表2 産業別就業者数(単位：千人、かっこ内は比率(%))

	第一次産業	第二次産業	第三次産業
1920年	14,672(53.8)	5,598(20.5)	6,464(23.7)
1930年	14,711(49.7)	6,002(20.3)	8,836(29.8)
1940年	14,392(44.3)	8,443(26.0)	9,429(29.0)
1950年	17,478(48.5)	7,838(21.8)	10,671(29.6)
1960年	14,389(32.7)	12,804(29.1)	16,841(38.2)
1970年	10,146(19.3)	17,897(34.0)	24,511(46.6)
1980年	6,102(10.9)	18,737(33.6)	30,911(55.4)
1990年	4,391(7.1)	20,548(33.3)	36,421(59.0)
2000年	3,173(5.0)	18,571(29.5)	40,485(64.3)

(『近現代日本経済史要覧 補訂版』より作成)

表1では、1873年から1883～84年にかけて小作地率が急激に変化している。このきっかけとなったのは [ク] が大蔵卿として進めた財政政策^(k)だが、変化をもたらした前提条件は、 [ケ] によって土地所有権が確立し、農家が税を金納するようになったことだった。小作地率は20世紀前半には大きな変化がないが、1950年には劇的に変わっている。この変化をもたらしたのは [コ] という政策である。

表2では、1920年から1940年までは⁽¹⁾第二次産業・第三次産業の就業者数に変化がみられる一方、第一次産業の就業者数はほぼ同じである。1950年の第一次産業の就業者数には従来と異なる動きがみられるが、これは日本国の [サ] に伴い、日本兵の復員が命じられ、さらに旧植民地に住んでいた日本人の [シ] が行われた影響が大きい。しかし1960年以降、^(m)第二次・第三次産業の就業者数の変化と連動して、第一次産業の就業者数は異なる方向に大きく変化していく。この変化は1950年代後半に始まった [ス] に伴うものだが、 [ス] が終わったあとも続いている。

問

- (13) 下線部(j)「小作地」で耕作する農家を小作農というが、彼らが自作農と異なるのは何か。簡潔に説明せよ。
- (14) 下線部(k)の財政政策がとられる一因となった戦争の名称を記せ。
- (15) 下線部(l)について、この時期の有力な業種を次の①～⑥から一つ選べ。
- ① 鉄 鋼 ② 養 蚕 ③ 百貨店
- ④ 銀 行 ⑤ 合成繊維 ⑥ 米 作
- (16) 下線部(m)の変化は、日本国内でどのような地域からどのような地域への人口移動をもたらしたか。地名を用いずに簡潔に説明せよ。

IV 日本史探究問題

(30 点)

次の問(1)、(2)について、それぞれ 200 字以内で解答せよ。解答はいずれも所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

- (1) 摂関政治の特徴について、摂関家と天皇との関係、および摂関家と中・下級貴族との関係の双方にふれながら説明せよ。
- (2) 鎌倉時代における経済について、流通をめぐる新しい動きをあげながら説明せよ。

日本史探究問題は、このページで終わりである。